

## 2022年11月度 高島屋店頭売上速報

### ■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+9.0	立 川 店	△2.0
堺 店	△2.6	大 宮 店	+1.0
京 都 店 ※	+2.7	柏 店 ※	△0.3
泉 北 店	△1.5	(株)高島屋各店計	+6.5
日 本 橋 店	+5.7	岡 山 高 島 屋	△3.8
横 浜 店 ※	+2.5	岐 阜 高 島 屋	△13.1
新 宿 店	+27.8	高 崎 高 島 屋	+3.9
玉 川 店	+4.6	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社計	+5.8

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

### ■ 概況

○11月度の店頭売上は、高額品が好調であることに加え、入国規制緩和に伴う免税売上増加により、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比	+5.8%	2019年比	+0.5%
免税売上	前年比	+320.9%	2019年比	△20.7%
免税を除いた店頭売上	前年比	+2.1%	2019年比	+1.8%

○店舗別売上では、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、スポーツ、食料品、食堂が前年実績を上回りました。